



量子少数多体問題と量子シミュレーション

遠藤 晋平 (基盤理工学専攻 准教授)

2024. **10.24**

ミクロな世界の物理法則である量子力学を、数式やコンピュータシミュレーションを用いて探る理論研究をしています。「量子力学のシュレディンガー方程式を解くとどのような面白い現象が現れるのか？」を探索する研究を、冷却原子気体や原子核やハドロン(クォーク)を主な研究対象として行っています。

研究分野

自然科学一般、半導体、光物性、原子物理、素粒子、磁性、超電導、強相関係

keyword

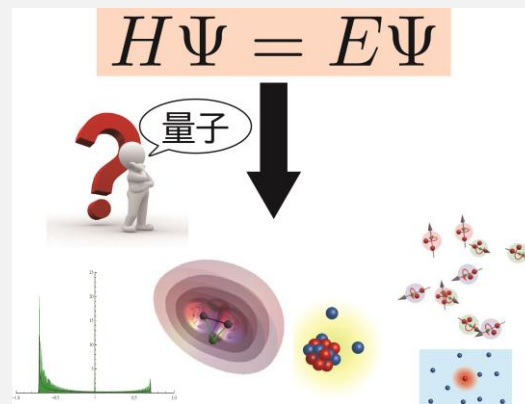
量子少数多体問題、冷却原子気体、原子核、量子ダイナミクス・制御、量子ウォーク

対象

電通大教職員、学生 (オンライン開催)

参加申込

右側のQRコードのフォームからご登録ください。



量子力学でミクロな世界の理解に挑む



(研究室web)



(参加申込)

COMPASS meetupは、学内研究者がどんな研究をしているのかを知る機会として、お昼休みに定期的に開催しています。本学の教職員・学生はどなたでも聴講可能です。気軽にご参加ください。

【お問合わせ】

研究教育マネジメント推進室URA
compass@ura.uec.ac.jp